

5. 福岡市内に生息するセアカゴケグモの生態調査について

環境科学課 藤代 敏行

平成 25 年度県内保健環境研究機関合同成果発表会

平成 19 年に福岡市で初めてセアカゴケグモが発見され、東区を中心として博多区、中央区、城南区、早良区でも確認されている。東区で発見されているハイイロゴケグモを含むゴケグモ類について、効果的な駆除方法の検討や市民への情報提供を目的として、生息状況調査、飼育試験、毒性試験を行った。

ゴケグモ類は日当たりのよい暖かい場所を好み、冬季は側溝のグレーチングの下など閉鎖的な空間で枯葉や枯れ草でできた巣の中で生息していた。春から夏にかけて開放的な空間でも生息を認められるようになった。

また、飼育試験では、ハサミムシを好んで捕食した。5 月ごろから産卵を開始し、1 週間に 1 個のペースで卵のうを作った。幼体はハサミムシなどに捕食されることが確認された。

なお、SDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動法により、130kDa 付近にオーストラリアや大阪のセアカゴケグモが持つ毒素成分の α -ラトキシンと推測されるバンドを確認した。